

がん相談支援センターだより



がん相談支援センター がん専門相談員 松岡 悠

前々号の、「知ってる?ACP(人生会議)②」でACPのタイミングについて掲載しました。
今回もACPについて皆さんに知っていただきたく、具体的な場面をご紹介します。

知ってる?ACP(人生会議)③



アドバンス・ケア・プランニング(ACP)とは

自分が希望する医療やケアを受けるために、大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療・ケアを受けたいかを前もって自分自身で考え、家族や身近な人、医療従事者と話し合い、共有することです。

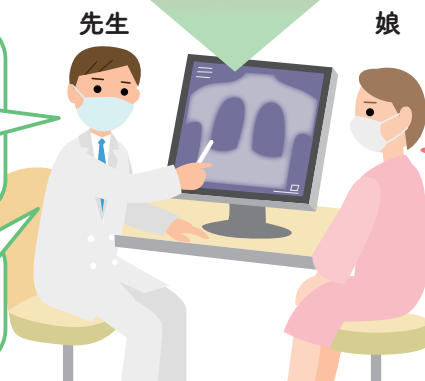


私は85歳。元気に一人暮らししているけど、将来、**延命処置**はしないと決めているわ

時は過ぎ…急な肺炎で入院。呼吸が苦しく、話は十分にできない状況。
遠方の娘さんが帰省し、医師から病状説明を受けました。

①重症肺炎です。
延命処置を希望しますか？
今までお母さんと延命処置について話をしたことがありますか？

③分かりました。
それでは、できるだけ延命処置を施します。



②延命処置のことなんて、元気だったから話をしたことはありません。急なことで、私もどうしたらいいのかわからない。どうしよう。
母には長生きしてほしいので、できる限りの**延命処置**を希望します。

この例では、「患者本人の希望」と「家族の思い」を事前に話ができなかったことで、元気な時の本人の意思は十分に尊重されませんでした。

ACPの重要性

ACPを行うことで、このような認識の違いを防ぎ、本人の希望に沿った医療やケアが提供されます。また、事前に話し合いができていれば、家族も急な状況での判断の負担が軽減されます。



できることから始めてみよう!

- **自分**ができること …… 信頼できる人に自分の希望や考えを話してみよう。
病院に置いてある「私の心づもり」を活用するのもおすすめです。
- **家族**ができること …… 本人の話を聞くことで価値観を知り、意向を尊重する。
難しい時は医療者に相談してください。
- **医療者**ができること …… 本人・家族にACPの大切さを伝え、選択肢を分かりやすく説明しましょう。

ACP(人生会議)に関するご相談は、2階、がん相談支援センターまでご相談ください。

☎0855-28-7096(平日9:00~17:00) ※がん患者さん以外の方でも相談可能です